

～管内通水断面確保のために～

空気弁清掃訓練を実施

令和元年9月25日（水）に、空気弁からの漏水を想定した分解清掃訓練を実施しました。

霞ヶ浦用水は、地中に埋められたパイプ・ラインにより農業用水や水道・工業用水を供給しています。パイプ（管路）は、地形の高低に合わせて埋設されていることから、管路の高い部位に集中・溜まった空気を、管内通水断面確保のために、常時、設置している空気弁から管外へ排出しています。

空気弁には、ゴミなどが入り込み、まれに水が漏れ出すことがあります。溢れ出す水が道路や畑などに流れ込み、周囲に被害が出るといけないので、即座に対応する必要があることから、分解清掃の訓練を定期的に行っています。



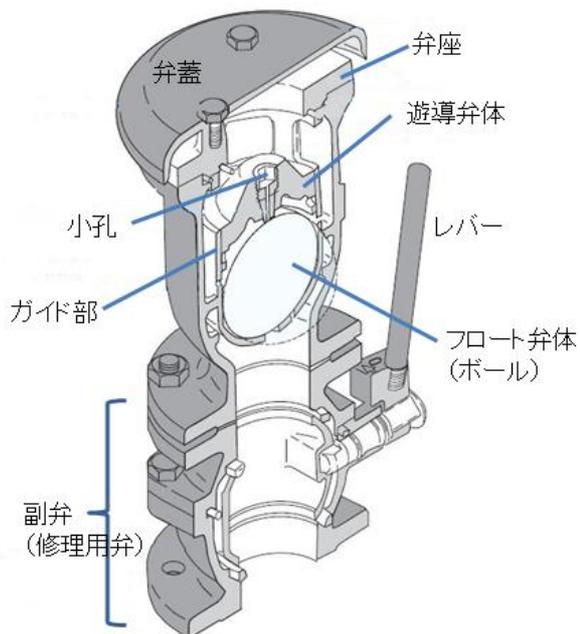
訓練【空気弁内部の清掃中】



訓練【副弁をゆっくり操作中】



空気弁から漏水が発生し、道路にあふれている様子



空気弁の構造（フロート弁体と遊動弁体の隙間にゴミが入り込むと漏水が発生）